



<p>名 称</p>	<p>桐生市立西幼稚園 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>21人 (令和3年5月1日現在)</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>【組織】 (1) 本部役員：会長・副会長・書記・会計・会計監査 (2) 専門部：行事部・生活部（各部とも部長、副部長） ※全会員がどちらかの部に所属する。 (3) 学級委員：1～2名 【運営】 ○総会（年度始・年度末） ○P T A 歓送迎会 ○P T A 役員会議（学期に1回） ○廃品回収（年2回） ○行事部：・家庭教育学級（年1～2回） ・運動会手伝い分担 ○生活部：・交通安全教室（年2回） ・絵本読み聞かせ（学期に1回）</p>
<p>主 な 活 動</p>	<p>【地区の生涯学習の会や小学校との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、生涯学習の会『ふれあい農園』で、地域の方とP T A が協力して、子どもたちに田植えや稲刈りを体験させている。同じ地区の小学生や地域の方とあいさつを交わしたり、同じ場所で一緒に田植えや稲刈りをしたりすることで、交流を深めることができている。 ・P T A の保護者は、地域の方と一緒に、苗を束ねて分けるなどの作業を手伝ったり、幼児が安全に経験できるように、一人一人の幼児に声をかけたりと、必要なところで進んで関わっている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>〈6月ふれあい農園での田植えの様子〉 〈10月稲刈りの様子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい農園で収穫したもち米は、地域の方が精米していただき、P T A と幼稚園の共催行事である親子もちつき会で、自分たちが収穫したもち米を親子で味わい、楽しい思い出の一つとなっている。

・もちつきの会の準備や片付けは、園と打合せをしながら本部役員が中心となって進めている。保護者の負担軽減への配慮としては、買い物等を含めて前日までの準備のできることは、職員が分担するなどの工夫をしている。



〈親子もちつき会の様子〉

【その他】

- ・PTA廃品回収（令和2年度より、年2回に縮小）
回収日までは、アルミ缶や段ボールなどを、園の倉庫にいつでも運び込めるようにしておく。
- ・保護者による絵本読み聞かせ（学期に1回）
担当の生活部員が、子供たちが喜びそうな絵本を選び、降園前の20分間を使って、読み聞かせをしている。



〈保護者による絵本読み聞かせの様子〉

・交通安全教室

（年2回、日程や内容は、行事部と園で相談して計画する）
1回目は、6月頃に実施し、桐生市の交通安全ヘルパーから信号や横断歩道の渡り方などを、改めて学ぶ機会となっている。
2回目は、2月中旬に実施し、主に年長児親子で園外に出て、



歩道を歩き、信号や横断歩道の渡り方などを体験し、就学前に親子で確認する良い機会となっている。

名 称	みなかみ町立新治小学校PTA
会 員 数	121人 (令和3年5月1日現在)
組 織 ・ 運 営	<p>(1) 本部役員 会長1、副会長3、書記1、会計1、監査2、顧問1 地区委員</p> <p>(2) 専門委員会 子育て委員会、体育委員会、文化広報委員会、環境整備委員会</p> <p>(3) 会議 本部役員会4回、運営委員会4回、総会1回</p>
主 な 活 動	<p>(1) 教育活動支援 家庭教育支援 ○読み聞かせ 子育て委員会担当 各学年児童への読み聞かせを実施 ○親子料理教室 子育て委員会担当 企画実施 ○運動会支援 体育委員会担当 感染予防対策を実施 ○マラソン大会支援 体育委員会担当 路上の安全確認 先導及び後走 ○スキー教室支援・プール支援・救急救命法講習 体育委員会担当 ○PTA新聞・親子星空観察会 文化広報部担当 企画実施 ○奉仕作業の実施 環境整備委員会担当 企画実施 ○生活科・総合的な学習・家庭科・書写支援 赤谷プロジェクトとの連携 ○ネット関係講演会 4・5・6年生向け講演会を本部事業として実施</p> <p>(2) 学校運営協議会及び地域学校協働活動との関わり ○会長及び副会長は新治小学校運営協議会の委員として、学校運営方針に対して積極的に意見を述べるなど教育活動の充実に寄与している。令和2年度は修学旅行の地元実施や総合的な学習、運動会・マラソン大会の在り方等、コロナ禍における教育活動の充実への提案を積極的に行っている。 ○学校運営協議会の委員として、学校へのリモート会議システムの導入について具体的な提案を示し、教育活動での多くの活用につなげた。 ○地域学校協働本部（新治小学校支援センター）と連携して、各教育活動に必要なボランティアとして積極的に関わっている。 ○地域学校協働本部（新治小学校支援センター）と連携して、放課後子ども教室のボランティアとして活動している。</p> <p>(3) ユネスコ・エコパーク（赤谷プロジェクト）との関わり ○地域の特色を活かした教育活動の充実に向けて、生活科、総合的な学習の授業への支援（赤谷プロジェクトとの連携促進等）を行っている。 ○『木育（木とふれあう町の事業）』について、学校と協議し教育課程との関連を深められるよう働きかけている。また、地域住民の活動（赤谷プロジェクト等）の活性化に積極的に働きかけている。 ○歴代PTA会長会と連携して、河川草刈り等により学校の教育活動の充実のための活動基金を設立している。 ○地域住民の活動「ツリーハウスプロジェクト」への協力依頼やたくみの里での太鼓発表の広報など、地域活性化に向けて積極的に働きかけている。</p>

(4) 活動の様子
 読み聞かせ (ITC活用推進) 連携校とのリモート交流推進



地元での修学旅行 企画提案及び活動支援



自然観察支援

運動会での感染予防対策実施



授業支援 (家庭科)


校外活動支援 (生活科)



奉仕作業 草刈り

救急救命 スキー指導 木育の実施



名 称	伊勢崎市立あずま中学校 P T A
会 員 数	7 5 5 人 (令和 3 年 5 月 1 日現在)
組 織 ・ 運 営	<p>1 組 織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部役員 (会長 1 名 副会長 4 名 書記 3 名 会計 3 名 顧問 2 名 会計監査 3 名) ・学年委員会 (1 年 1 0 名、2 年 1 0 名、3 年 1 4 名) ・専門委員会 (教養部 広報部 体育部 健全育成部) ・運営委員会 ・拡大運営委員会 ・委員総会 <p>2 運 営</p> <p>全家庭が P T A に加入している。4 つの専門部会は、各町内から選出された支部長と学年委員で構成されている。学年委員は立候補により選出され、行事に対して意欲的な取組がなされている。会議を通して、地域の情報や会員の意見を反映した活動が行われている。</p>
主 な 活 動	<p>【生徒の健全育成を願う、地域と一体となった P T A 活動】</p> <p>1 地域とともに ～生徒の安心・安全のために～ (交通安全)</p> <p>○危険箇所の再点検と危険箇所マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の危険箇所と交通指導見守り箇所の整合性を点検し、危険箇所マップを作成した。  <p>【あずま中学校区危険箇所マップ】</p> <p>○交通安全動画の作成、配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車を運転する際に、どのような危険があるのか具体的に分かるような動画を P T A 役員で作成した。  <p>【交通安全動画タイトル画面】</p> <p>○ミラー・標識の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力を得て、危険箇所へのカーブミラー設置や「自転車止まれ」標識の設置を行った。 <p>2 P T A 広報紙「順風」(ICT の活用)</p> <p>紙面を工夫し、読みやすさを追求した P T A 広報紙を作成した。また、コロナ禍のため保護者が生徒の活動を見る機会が少なくなり、会員の意見を受けて、広報紙の電子化や学校行事の動画配信を行うようにした。広報紙に掲載された二次元コードからは、校長挨拶や会長挨拶の動画、学校行事の動画が見られるようになっている。</p>

○特集記事

- ・広報紙の各号で「交通安全特集」「教職員特集」「卒業特集」など重点を絞った紙面を作成した。

○学校行事の動画配信

- ・教職員、PTA役員が協力して動画撮影、編集を行った。作成した動画は、保護者限定で配信を行った。

○広報紙「順風」全国佳作受賞

- ・PTA広報紙「順風」は「全国小・中学校広報紙コンクール」全国佳作を受賞した。



【「順風」第160号～交通安全大特集～】

3 地域の協力を得て

○有志による花火大会

- ・あずま地区PTA連絡協議会の設立したタイミングで、あずま中学校PTAが主体となり、花火大会を実施した。地域の3小学校とあずま中学校の本部役員や地域の有志が協力して花火大会を実施できた意義は大きい。



【体育祭の動画配信】

4 まとめ

コロナ禍をきっかけに、PTAの活動の見直しを行った。大きく変化したのは、ICTの活用である。

学校行事の動画を撮影したり、本校の課題である交通安全（自転車の乗り方等）に対して危険箇所マップや安全動画の作成をしたりと保護者の希望に応える具体的な活動に取り組み、その動画はPTA広報紙や学校のホームページで配信した。

また、運営委員会や専門委員会などの会議は、状況に合わせて集合して開催したが、集合ができないときにはリモート会議を実施した。結果として、広報紙の作成や動画の撮影・制作・配信、リモート会議を行うことで、コロナ禍においても保護者同士や学校と地域との連携を維持することができた。さらに、PTA役員をはじめ、各家庭のICT技能の向上やインターネット利用についての理解を深めることができた。



【花火大会の様子】